

第14回 穴水ウインドアンサンブル 定期演奏会



●日時 2014年9月7日(SUN)

開場/13:30 開演/14:00

●場所 のとふれあい文化センター
ラベンダーホール



主催: 穴水ウインドアンサンブル

後援: 穴水町教育委員会・穴水町文化協会・北國新聞社・能越ケーブルネット(株)

ごあいさつ



穴水ウィンドアンサンブル 団長 ^{しみず}清水 ^{かずひろ}一洋

本日はご来場頂き誠にありがとうございます。
回数を重ね、今年で第14回目となりました。
今年も肌寒い時期から練習に取り掛かり、無事本日を迎える事ができました。
1年とは何と早いものか…と思いながらも、限られた時間の中、着実に今日の日に
照準を合わせ積み重ねてきたと思います。
今回も、各方面から多数の方々が駆けつけてくださいました。今年もパワーアッ
プした演奏をお届けできると思いますので、最後までごゆっくりお楽しみください。

プログラム 第1部

1 吹奏楽のための「風之舞」

作曲 福田洋介

2003年、吹奏楽のための「風之舞」で第14回朝日作曲賞を受賞、2004年度全日本吹奏楽コンクール課題曲として全国の吹奏楽部で演奏されました。またこの時期、『1億人の大質問!?笑ってコラえて!』の人気コーナー「日本列島 吹奏楽の旅」が放映されており、番組内で淀川工業高校(当時、現在は淀川工科高校)吹奏楽部が一生懸命練習する練習風景が何度も放送されたため、一般にも有名な吹奏楽曲として認知度も高く、歴代の課題曲の中で人気の高い曲のひとつとなっています。

2 ブラスオーケストラのための「行列幻想」

作曲 團伊玖磨 編曲 時松敏康

作曲者である團伊玖磨氏は、1945年に東京音楽学校(現:東京芸術大学)を卒業し、近代日本音楽の代表的な作曲家として知られています。

この「行列幻想」は、1977年にプリヂストン・タイヤ久留米工場吹奏楽団の委嘱によって作曲されました。この曲は3つの楽章に分けられ、第一楽章「男の行列」は力強い曲で、第二楽章「女の行列」優雅でロマンチックな曲、第三楽章である「そして男と女の行列」はトランペットのファンファーレから始まる華やかな曲となっています。

氏は、この曲について「行進曲には、いろいろな行進曲がある。今回の作品については、少し変わった行進曲を書きたいと思った。人間の行列を“男”、“女”、“そして男と女”の3楽章から組み立ててみた。第1楽章は力強く、第2楽章は優美に、そして第3楽章は力強く演奏してほしい。優れたプリヂストンタイヤ吹奏楽団のために作曲するのは幸福だった。全体としては明るい曲になるように努めた」第1楽章は、やや無骨で古風なリズムにのって男性的なテーマが装飾を従えて現れ、クライマックスに向かっていきます。第2楽章は1楽章にくらべてはるかに柔らかな衣装を風になびかせる女性たちの踊りにも似た行進曲です。美しいばかりでなく、憂愁を秘めた心の歌が聴こえます。第3楽章は1と2の要素をさまざまに組み合わせて、男女によって支えられる理想的世界を華々しく描きます」と述べています。

はじめて吹奏楽のために作曲された曲ですが、警視庁音楽隊囑託の編曲者である時松敏康氏によって編曲されています。

第2部

1 吉本新喜劇のテーマ

作曲 Leo Wood 編曲 本澤 なおゆき

吉本新喜劇とは、よしもとクリエイティブ・エージェンシー(2007年9月までは吉本興業)に所属するお笑い芸人によって舞台上で演じられる喜劇、およびそれを演じる劇団の名称のことです。

この曲は、かつては朝日放送で放送されていた花月中継のオープニング曲としても使用していましたが、「ホンワカパッパ ホンワカホンワカ…」というメロディがあまりにも印象に残るものであったため、「新喜劇をイメージさせる曲」ととどまらず、『六甲おろし』ともども大阪をイメージさせるステレオタイプな曲として認識されるようになりました。

2 魔女の宅急便コレクション

編曲 福田洋介

スタジオジブリ映画「魔女の宅急便」は1989年に公開されました。この映画はストーリーだけでなくとどまらず、美しい西欧風の街並みの風景や、久石譲による音楽も高い評価を得ています。

今回の吹奏楽アレンジは、原曲の良い所取りをしたメドレーになっていて、全体のバランスや構成がすばらしく、少し聴いただけで、きっと映画の世界に飛び込んだ感覚になれるでしょう!原曲に忠実なアレンジで、すべて原曲と同じ調性になっていますので、きっと違和感なく楽しめます。

※構成:晴れた日に～仕事はじめ～海に見える街～旅立ち～やさしさに包まれたなら(計5曲)

3 September

作曲 Maurice White, Al McKay, Allee Willis 編曲 真島 俊夫

ソウル&ファンクの大御所、アース・ウィンド・アンド・ファイアーが全盛期の1978年にリリースした曲です、バンドの代表曲のひとつとしても、また熱帯JAZZ楽団の代表的なレパートリーのひとつとしてもおなじみではないでしょうか。チャチャチャのリズムをベースにした、ノリノリのアレンジですので、お楽しみください。

4 幻想即興曲より

作曲 F.ショパン 編曲 藤田 玄播

幻想即興曲作品番号66は、ポーランドの作曲家フレデリック・ショパンが1834年に作曲したピアノ曲です。ショパンが作曲した4曲の即興曲のうち、最後に出版されたものです。数あるピアノ曲の中で、最もよく知られる作品のひとつで、現在の版はショパンの死後友人のユリアン・フォンタナが改稿し発表したもので、「幻想」の題も彼によって付けられました。

ユリアン・フォンタナがショパンの遺品の中にあつたこの曲に手を加え、『幻想即興曲』と題して1855年に出版しました。ショパン自身は単に即興曲と題したのみでした。ショパンは「自分の死後、この楽譜を燃やして処分して欲しい」と頼んだのですが、フォンタナが遺言にそむいて公表したとも言われています。ショパンがこの曲を生前公表しなかった理由については、諸説あり定かではないのですが、冒頭部分(7-8小節)がベートーヴェンのピアノソナタ第14番「月光」第三楽章のカデンツァ(189小節)に非常に似ていることを気にし、本人にとっては失敗作であり気に入らなかった、などが考えられています。

5 ボレロ

作曲 Maurice Ravel 編曲 岩井 直博

映画やCMなどでお馴染みのいただいた「ボレロ」は、原曲はフランスの大作曲家モーリス・ラヴェルが管弦楽のために作ったバレエ音楽です。スペインに伝わるボレロという踊りのリズムに乗せて、ひたすら同じ旋律を繰り返すという曲ですが、これを日本吹奏楽ポップスの父と言われている岩井直博氏が吹奏楽用に編曲したものです。いろいろな楽器にソロが受け渡されていくというのは原曲と同じなのですが、元々の3拍子から4拍子になって、なんといってもポップスのビートが刻まれている面白い編曲となっています。

この曲は2005年(平成17年)10月16日(日)穴水ウィンドアンサンブル第5回定期演奏会以来のリバイバル演奏で、歴代の演奏会ごとに実施したアンケートの中で、一番人気が高かった曲です。

今回の演奏メンバー全37人中14人が前回のボレロ演奏経験者で、23人が初演奏となります。前回とはまた一味ちがう「ボレロ」をごゆっくりお楽しみください。

定演演奏会 出演者一覧

フルート	江上由華理	松本佐智子	藤田健一郎	野田 昌代
クラリネット	沖崎 正人	池田 祐子	滝尻 翔子	東 美幸
	角部 琴美			
サクソ	長原 麗子	中村 弥生	江上 麻衣	
トランペット	中川 健一	松本 優子	本田 照美	林 繁和
	中谷 博之	加茂野恭子		
ホルン	仕幸 勝治	江上 隆	須磨美千代	
トロンボーン	片矢 秀和	長原 博昭	出水 大幸	源内 豊 (Eup兼任)
	中田 弘幸			
ユーフォニウム	酒井 真			
チューバ	岩野 祥之	野田 宏美	荒川 裕介	坂本 直樹
	瀬戸 清彦			
パーカッション	谷口 天洋	細木 剛	中前久美子	濱上 知華
	示澤 久子			
指揮	清水 一洋			



団員募集

当団では「楽しく真面目に!」をモットーに日々楽しく練習に励んでいます。現在楽器を吹いている方、ブランクのある方、未経験だけど何か楽器を吹いてみたい方も大歓迎です!私達と楽しい時間を過ごしませんか?

興味のある方は気軽に練習を覗きに来て下さいね!

資 格：高校生以上の方ならどなたでも!

練習場所：旧穴水町生きがいセンター

連絡先：〒927-0026 鳳珠郡穴水町大町2-43 清水 一洋 ☎0768-52-0563(自宅)

… 私たちのホームページにも、ぜひ遊びに来て下さい … アドレス <http://pi-taro.sakura.ne.jp/anamizu/>